

【観光課(新規)3 伝統文化継承事業】(委員)

箱根の伝統芸能団体はどれも高齢化、資金不足、後継者(若手)の不足により、存続の危機になっています。コロナ過ではむずかしいかもしれませんが、箱根町での伝統芸能の発表の機会を多くしていく事で、町民の皆さんに周知して興味を持って頂くことが良いと思います。  
 また、子供の頃から郷土の愛を育てていく。社会科授業などに伝統芸能を知ってもらう機会を作り、子供のころから地元の伝統芸能に興味をもってもらい、やがてはその子たちが後継者になって地域の発展を担ってもらえたら嬉しいです。

(委員)

○検討中の「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、現在の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、4つの基本目標は同じだが、目標の指標が異なっている。目標値の指標を変更した理由を教えてください。(例えば、基本目標3の目標が、件数から満足度、基本目標4の目標が新規就業者数から就業者数に変更となっている。)

○「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「総合計画後期基本計画」と一体的に策定する方針とのことだが、掲載の順番が異なっていたり、実施事業名と施策の表現が異なっていたりするため、関係性がわかりやすくなるよう整理するのはいかがか。(例えば、総合戦略は「はたらきながら安心して子育てができるまちづくり」とあるが、総合計画では「施策2 子育て支援の充実」と、同じような内容が別の表現で掲載されている。)

(委員)

町全体の景観

○ゆもと橋～酒岳堂吉池旅館、宮ノ下、箱根～元箱根  
 ×裏通り、無人駐車場・・・ゴミ放置。雑草。(わびしい感じ)  
 町全体で美観を保つような意識。

人口・・・銀行にとっても重要な問題

○子供が小さいうちは自然環境が良い。ネットワークもしっかり。  
 リモートワークが定着すればチャンス拡大(子供の教育問題がなければ。)  
 ×中学校中学問題。受験のための通塾費用・時間がかかる。  
 中学2年対象でリモート学習できないか。また、英語学習注力であるならば、英検等具体的な目標を掲げてはどうか。  
 ×食品スーパーが近隣に無い。何をすることも。

伝統工芸等

○一部の優良製造業者は販売一本化し後継者を育成確保できている。  
 一方で一人職人の製造業者は姿を消してしまった。  
 ×地域のホテル旅館が地域色を出すために活用する流れを作りたい。安定した売り上げを地域内で確保することも重要。

**経済構造**

- 観光客等外部のお金を呼び込めている。
- ×経営者等が小田原に住むケースがあり、利益の地域内還流が少なくないのではないか。  
地域内還流をつくる仕組みが何かあると良いのでは。

**婚姻率**

- 適齢期の女性にはタブー観が強い。
- 近隣市町村と合同で、交流できる場をもってもよいのではないか。

**(委員)**

送付いただいた資料を拝見いたしました。今回意見照会のありました総合戦略については、総合計画後期基本計画の行動計画にあたるものと理解しています。(もし認識の違いがありましたらお知らせください。)

昨今の2050カーボンニュートラル(脱炭素)に向けた社会情勢の変化やニホンジカによる自然環境等への悪影響の深刻化を踏まえ、前期計画に記載されております循環型社会の形成やシカ対策については、強化して実施すべきと考えております。特に、環境先進観光地を目指す貴町において脱炭素の取組を進めることは、総合戦略や総合計画の目的達成に向けて必要な取組と認識していますので、総合戦略において新たな目標に位置付けるか、基本目標1に入れ込む形で脱炭素に向けた具体的な実施事業の明確化やKPIの設定などを行うことについて、検討をお願いいたします。

また、今年度より貴町において進められている地域循環共生圏の取組についても、総合計画や総合戦略の目的に合致するものと認識していますので、連携を取って進めていただきますようお願いいたします。

**(委員)**

**箱根町での定住問題点**

- ・新卒での若手の入居はあるが、観光業企業の入寮での対応が大半であり三十代手前での結婚等のライフスタイルの変化時に別市町村へ移動してしまう。
- ・就職の段階で魅力ある住居・アパートの提供や補助などできないものか。
- ・車を持たない世代への箱根町住民補助してバスや電車などの補助。

**リモートワーク**

コロナ過において地方定住テレワークが注目されているが、箱根町の保養マンションやワーキングスペース設置など活用できるのではないかと。

**ホテルなどの大型宿泊施設への通信設備強化への補助**

宴会やコンベンションの少人数化とともに、他地域との情報通信が必要になり一施設での通信情報量が大型化している。各企業への設備投資補助としてデジタル設備に特化した補助事業があると移行しやすいのではないかと。

**持続可能な箱根町として**

ゴミの分別や宿泊施設からのフードロスなど一企業では解決できない問題がある箱根ジオパークとして持続可能な観光生活地域として環境を整え町内外に発信してかなければならない。

## 総合戦略P46(委員)

・町内にスーパーや総合病院等生活インフラが確立していないことに不便さを感じて、中には町外に移住しているとの声を聞く。このことも人口減少の要因の一つであるのではないかと思う。実施事業である「企画課1交通や買い物の利便性を図る」とあるが、具体的な施策は何かあるのか。また、その施策を実施した際の成果をどのように把握するのか。

・日本有数の観光立町としての位置づけが高い箱根町であるが、飲食店等の店舗で現金以外の決済機能に乏しく、キャッシュレス化が進んでおらず、観光客からの不満の声を聞くことがある。経営者によっては高齢であるなどデジタルやITに弱い人たちも多くいる中で、キャッシュレス社会が浸透している外国人がコロナ後のインバウンド需要が復活することまで見据えて、今後「実施事業 企画課(新規)3デジタルトランスフォーメーションの推進」をどのように進めていくのか。

## (委員)

### ワーケーションの推進

箱根に何度も来る事で箱根ファンを増やす→関係人口増やす

社員寮や保養所など空いてる建物をリノベ  
コミュニティスペースと居住スペース

### リノベプロジェクト 参加メンバー募る(まちづくりへの参加)

↓完成

コミュニティスペース

起業スクール・セミナー・伝統産業ワークショップ・テレワーク (滞在者は自由に参加できる)

居住スペース

(個人)都度払い・月額払い

(法人)2人まで¥〇〇〇〇 4人まで¥〇〇〇〇

移住希望者も現在の単発宿泊からこの居住スペースへ宿泊し、実際に年間通して住んでみる(通ってみる)  
住んでみる事で気候や環境なども知り、ゆっくり住みながら住む場所・働く場所を探す事も可能。

・モバイルレジでの税金支払い 実際に他の町への支払いに使用しているが気づいた時にすぐできるので非常に便利。

・歩道整備は進めて欲しい 草刈り等遅れていて歩道が全く歩けない箇所もある。

## (委員)

現在、ハコネスタイルの代表として箱根町役場 企画課様と一緒に移住支援を行っております。この度の委員委嘱にあたり、私個人の町支援目標、町の強み、移住希望者が検討しているポイントについて私の見解を述べさせていただきます。

### 私の箱根町支援目標

- ・移住支援団体ハコネスタイルとして移住者の増加(昨年度実績2組以上を目標)
- ・町内外の新規ファンの掘り起こしと既存ファンへの再認識(箱根ブランドの再構築)
- ・在住町民が我が町自慢をできる文化、歴史の探求(町民の自己肯定向上)
- ・移住支援や空き家再生を通じて人流を増加(関係人口の拡大)

### 箱根町の強み

・自然が多い・歴史がある・観光スポットがたくさんある・意外と都心から近い

- ・温泉・夏の暑さはない(逆に冬の寒すぎるはマイナス)・有名である
- ・良くも悪くも町民プライドは高い

### 移住希望者の検討ポイント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>教育</b></li> <li>小中学校への登下校不安</li> <li>学童保育等のアフタースクールケアへの不安</li> <li>学習塾や英会話教室の存在有無</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>医療</b></li> <li>専門病院の不足による不安</li> <li>そもそも町内医療体制が脆弱</li> <li>救急車対応時間の不安</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>出産、子育て</b></li> <li>保育園、幼稚園の入園可否とその環境への不安</li> <li>幼児医療体制への不安</li> <li>移住後の子育て相談窓口が不明</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>就業</b></li> <li>働き口の検索が不明</li> <li>観光業以外で働きたいがあるのか不安</li> <li>テレワークスペースが少ない</li> <li>起業したいが補助金・助成金があるのか</li> <li>起業時の相談者 特に士業(司法書士・社労士・会計士・弁護士)事務所がない</li> <li>観光業(飲食・宿泊施設)以外の業種で成り立つのか不安</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>住居</b></li> <li>空き物件の件数が少ない(高収入を狙う不動産業界の悪習による物件の抱え込み)</li> <li>空き家、空き地物件への対策</li> <li>リゾートマンションの定住不可管理規約問題</li> <li>住宅改修、購入への助成が希薄</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>生活用品購入</b></li> <li>スーパー等の不足</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>交通インフラ</b></li> <li>車がないと生活が厳しい</li> <li>バスが生命線</li> <li>降雪時運休、荒天時運休により足が奪われた時の対応</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>福祉</b></li> <li>高齢者対策が不透明</li> <li>障害者への支援や対策が不明</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>災害対策</b></li> <li>火山対策についての認知度が低い(無駄に怯えている)</li> <li>土砂災害への不安</li> <li>避難所が遠い</li> <li>ペットと一緒に避難できるか不安</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>その他</b></li> <li>友達ができるか不安</li> <li>既住民の皆さんとなじめるか不安</li> </ul>

これらはトライアルステイ参加者及びその候補者からの声と私の私見であり、町が対策を取っていないことを指しているわけではありません。私が町として対策を取っている事で知り得ることは説明をしていますが、移住を希望する方は多種多様な不安を抱えているのが現状です。家族構成や個人によって優先順位はありますが、列記するとこの様な事象になります。これらについて一つ一つ丁寧な説明と現在行っている対策、検討課題であれば今後の展望を紹介する事により移住へ繋がると思われます。

それを踏まえまして、以下のようなことを総合戦略に盛り込んでいただきたいと思います。

**・町内にテレワーク施設の設置**

リモートワークやテレワークの普及により地方移住の希望が増えていますが、自宅以外で仕事ができる場所が増えることで、交流や起業を促すことができると思います。

**・起業しやすい環境づくり**

起業に対する補助金の創設や、士業(司法書士・社労士・会計士・弁護士)の人が身近にいて相談できる環境があるといいと思います。

**・観光業以外の業種支援**

今後観光だけでは立ち行かなくなることも考えられますので、これからは観光業以外の業種にも積極的に支援し、新たな産業などを生み出す必要があると思います。

**・空き物件の情報共有**

移住希望者に物件が行き届いてない状況を踏まえ、私たち民間団体も協力したいと考えていますので、空き家の情報等を相互に共有していける環境を作っていただきたいと思います。